

20 第 1 回 5 月 早慶上理・難関国公立大模試 生物 採点基準

【採点方法】

1. 正答(満点)の場合…○をする。
2. 一部正答(部分点)の場合
 - ①加点…加点部分に下線を引き、加点する点数を下線の最後に「+1」のように書く。
 - ②減点…減点部分に下線を引き、減点する点数を下線の最後に「-1」のように書く。
3. 誤答の場合…×をする。

例：4 点満点の場合

(正 答) 有性生殖は、無性生殖に比べ、遺伝的な多様性は生じやすいが増殖の効率は悪い○。

(一部正答) 有性生殖は、無性生殖に比べ、遺伝的な多様性が生じやすい+2。

【統一事項】

1. 設問文の指示について
 - ・設問文の指示に従っていない場合には適宜減点する。
2. 空欄補充・用語記述問題
 - ・生物学用語について誤字・脱字がある場合→ ×(0 点)
 - ・教科書で一般に漢字表記の用語をひらがなで書いてある場合→○
 - ・不要な要素を含んで解答した場合→×(0 点)
 - 例：腺という →内分泌○，内分泌腺×
 - ・生物学用語で複数の表記，カタカナ表記の異体がある場合は，それぞれ正答とする(表記については教科書または生物学辞典を参照する)。
 - 例 1：腎細管○，細尿管○，尿細管○
 - 例 2：チロキシン○，サイロキシン○，甲状腺ホルモン○

3. 論述問題

(1) 論述内の誤字について

- ・生物学用語についての誤字がある場合
→誤字部分に下線を引き、誤字 2 つにつき -1 点とする
ただし、ひらがなで正しく書いてある場合は減点なし。
- ・一般の誤字がある場合→減点はしない。
ただし、あまりに多いようであれば適宜減点する。

(2) 字数について

- ・5 字以内の字数オーバー→減点はしない。
- ・6 字以上の字数オーバー→-1 点とする。

(3) 設問文中で用語指定がある場合

- ・指定された用語が使用されていない場合→用語 1 語につき適宜減点する

(4) 加点・減点について

- ・ある現象が起こるしくみや反応の経路などを順序立てて説明する設問では、個々の反応がすべて正しく書けていても、説明の順序が誤っている場合は加点しない。
例：A→B→C→D の順に起こる反応を、A→B→D→C の順で書いた場合、D→C 部分は加点しない。
- ・文章が未完成の場合でも、加点部分があれば適宜加点する。未完成部分は、減点しない。
- ・明らかに文章として成立していない、意味が通らない、論理が成立していない部分は、加点・減点の対象としない。

4. 選択肢問題(番号・記号で解答する問題)

(1) 解答数が指示されている場合(「…1 つ選べ」、「…2 つ選べ。」など)

ア. 指示された数よりも解答数が多い場合→正答を含んでいても 0 点とする。

例：『…2 つ選べ。』(a と c が正答) の場合に解答数が 3 つならば
→ 『a ~~×~~, c』として全体で 0 点とする。

イ. 指示された数以内の解答数の場合→正答に応じて点を与える。

例 1：『…2 つ選べ。』(a と c が正答で「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 1 つならば →
『a』として 1 点とする。

例 2：『…2 つ選べ。』(a と c が正答「完全解答 2 点」) の場合に解答数が 1 つならば → 『a』
と ~~×~~て 0 点とする。

(2) 解答数が指示されていない場合(「…すべて選べ」など)

ア. 解答数が正答数と同じ、または正答数より少ない場合→正答に応じて点を与える。

例：正答数が 3 つ(a, c, d が正答「各 1 点 計 3 点」) の場合に、解答数が 2 つならば
→ 『a, ~~×~~』として全体で 1 点とする。

イ. 解答数が正答数より多い場合→正答数より多い解答 1 つにつき、0 点まで 1 点ずつ減点する。

例 1：正答数が 2 つ(a, c が正答「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 3 つならば
→ 『a, ~~×~~, c』とし、1 点減点して全体で 1 点とする。

例 2：正答数が 2 つ(a, c が正答「各 1 点 計 2 点」) のとき解答数が 5 つならば
→ 『a ~~×~~, c, ~~×~~, ~~×~~』とし、2 点減点して全体で 0 点とする。

【大問別補足事項】

1

問 2

(1) 4: 「第Ⅱ因子」, 「トロンボゲン」, 「トロンボーゲン」は訂正して可。

5: 「第Ⅱa 因子」は訂正して可。

6: 「線維素」でも可。

7: 「血餅」でも可。

(2) 「フィブリノリシス」は訂正して可。

(3) 2 点 (簡潔に)

(正答例) 血液を低温に保つ。

- ・「低温にする」という内容が書けていれば可。「低温」は「5℃以下」等でも可。
- ・「酵素の活性が低下する温度に保つ」は 1 点与える。
- ・別解として「ヘパリンを加える」でも可。

問 4

(1) (i) 単位「%」がない場合は訂正して可。

(ii) ・「58.7%」, 「58.76%」, 「58.8%」, 「60%」等, 四捨五入のミスと考えられる解答は 1 点与える。

・単位「%」がない場合は訂正して可。

(2) 「鎌状赤血球貧血」, 「鎌状赤血球症」でも可。

2

問 1

- (1) S 期：「合成期」は訂正して可。
G₂ 期：「後 DNA 合成期」，「第二間期」は訂正して可。

(2) 2 点 (20 字以内)

(正答例) 染色体が凝縮しているという特徴。(16 字)

- ・下線部の内容が書けていれば可。
- ・「染色体が見える(観察できる)」でも可。
- ・「染色体が棒状になる」は 1 点与える。

問 3

- ・「群」がない場合は訂正して可。

問 5

- ・単位「時間」がない場合は訂正して可。
- ・G₁ 期：「6 時間」は 1 点与える。
- ・G₂ 期：「3 時間」は 1 点与える。

問 6

- (2) 単位「個」がない場合は訂正して可。
- (3) 「群」がない場合は訂正して可。

3

問 1

(d) : 「硝子体」でも可。

問 3 3 点 (35 字以内)

(正答例) ①毛様体の毛様筋が弛緩して②チン小帯が引っ張られるので③水晶体が薄くなる。(34 字)

- ・ 下線部①～③について 1 点ずつ与える。ただし、順序が異なる場合は適宜減点する。例えば、下線部①～③の内容をすべて正しく書けていても、②→①→③の順序で記述していた場合は、-1 点。
- ・ 下線部① : 「毛様筋が弛緩する(ゆるむ)」という内容が書けていれば可。「毛様体の毛様筋」は「毛様体の筋肉」でも可。
- ・ 下線部② : 「引っ張られる」は「引かれる」、「緊張する」等でも可。

問 5

5 : 「聴小」, 「鼓室小」は訂正して可。

6 : 「前庭窓」は訂正して可。

8 : 「蝸牛」, 「第八脳」, 「内耳」は訂正して可。

4

問 1

4 : 「山麓」, 「亜山地」は訂正して可。